

1.	④	11.	②	21.	③	31.	③	41.	①
2.	①	12.	③	22.	②	32.	②	42.	②
3.	③	13.	④	23.	④	33.	①	43.	④
4.	①	14.	③	24.	③	34.	①	44.	④
5.	③	15.	③	25.	①	35.	①	45.	②
6.	③	16.	②	26.	②	36.	②	46.	①
7.	①	17.	③	27.	④	37.	④	47.	④
8.	④	18.	④	28.	④	38.	③	48.	②
9.	④	19.	①	29.	①	39.	②	49.	①
10.	③	20.	②	30.	②	40.	④	50.	④

1.

解答 ④

【解説】

正解は④「…と同じくらい～」です。問題の例文は「彼は彼のお父さんと同じくらいの背の高さです」という意味です。①は比較級（-er than）、②は最上級（the -est）です。

◆補足：否定形は not as ～ as…または not so ～ as…で、「…ほど～ではない」を意味します。例：「I'm not as tall as you.」（私はあなたほど背が高くありません）。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①「be popular with」です。with のほかに among も使われます。「This game is popular among young people.」（このゲームは若者の間で人気があります）。

◆補足：形容詞は popular（人気のある）です。名詞は popularity（人気）です。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「映画」です。「movie」は、アメリカ英語で「映画」を意味する最も一般的な言葉です。例えば、「Let's go see a movie.」（映画を見に行こう）。①は movement、②は感情的に人を to move させること、④は museum です。

◆補足：イギリス英語では、movie よりも film が一般的です。「映画館」は movie theater（米英語）または cinema（英英語）です。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「主題、テーマ」です。「The main theme of the movie is love.」（その映画の主なテーマは愛です）。②「チーム」は team、③「それら」は them、④「時間」は time です。

◆補足：「テーマパーク」は a theme park で、中心的なテーマに沿って構成された遊園地のことです。例えばディズニーランド。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「invent」です。「Thomas Edison invented the light bulb.」（トーマス・エジソンは電球を発明した）。①「invite」は誰かをどこかへ招待すること、②「invest」はお金を何かに投資して利益を得ること、④「involve」は誰かを含んだり影響を与えたりすることです。

◆補足：名詞形は invention（発明）です。物を発明する人は inventor（発明家）です。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③「alive」です。通常、「He is still alive.」（彼はまだ生きている）のように動詞の後ろで補語として使われます。①「live」は動詞形（生きる）です。②「leave」は去る、④「arrive」は到着する、を意味します。

◆補足：重要な違い：alive は通常、単独で補語として使い、名詞の前におく形容詞としては使えません。一方 living は名詞の前に使えます（「a living thing」＝生きている物＝生物）。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「dream」です。「My dream is to be a pilot.」(私の夢はパイロットになることです)。②「drum」はドラム、③「drama」はドラマ、④「draw」は描くという動詞です。

◆補足：動詞として、dream は「夢を見る」を意味します。例：「I dreamed about you last night.」(昨夜、あなたの夢を見ました)。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「purpose」です。「What is the purpose of your visit?」(あなたの訪問の目的は何ですか?)。①「suppose」は〜だと思いう動詞、②「purchase」は購入するという動詞、③「propose」は提案するという動詞です。

◆補足：on purpose という表現は「わざと、故意に」を意味します。例：「I'm sorry, I didn't do it on purpose.」(ごめんなさい、わざとやったものではありません)。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「position」です。これにはいくつかの意味があり、誰かや何かがいる場所(位置)や、会社や社会における人のランクや地位(地位)などがあります。例えば、「Please show me your position on the map.」(地図上であなたの位置を示してください)。①「poison」は毒、②「portion」は一部分、③「possession」は所有物です。

◆補足：position は動詞としても使われ、「～を置く」を意味します。

10.

解答 ③

【解説】

正解は③「～の一員、～のメンバー」です。名詞「member」は、グループや組織に属する人を意味し、a member of ～でどのグループに属しているかを特定します。例えば、「I am a member of the tennis club.」(私はテニス部の一員です)。①「～の指導者」は the leader of、②「～の訪問者」は a visitor to、④「～の記憶」は a memory of です。

◆補足：メンバー全体の集まりは membership と呼ばれます。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②「continue」です。「The rain continued for three days.」(雨は3日間続いた)。①

「contain」は含む、③「contact」は連絡する、④「control」は制御する、です。

◆補足：continue は、不定詞 (to do) または動名詞 (-ing) のどちらを伴っても、意味にほとんど違いはありません。「Please continue to work.」 = 「Please continue working.」

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「record」です。名詞として最初の音節 (RE の部分) にアクセントを置いて発音します。

「He broke the world record.」(彼は世界記録を破った)。①「report」は報告、②「reward」は報酬、④「remote」は遠いという意味の形容詞です。

◆補足：動詞形も record ですが、ストレスは第二音節にあります (re-CORD)。「記録する」を意味します。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「頂上、一番上」です。「the top of the mountain」(山の頂上)。①「底」は bottom で、反対語です。②「止まる」は動詞の stop、③「傾く」は動詞の tip です。

◆補足：形容詞として、top は「最高の」を意味することがあります。例：「a top athlete」(トップ選手)。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③「writer」です。動詞の write から来ています。例えば、「He is my favorite writer.」(彼は私の一番好きな作家です)。①「reader」は読者、②「rider」は乗り手、④「waiter」はウェイターです。

◆補足：小説を書く人は novelist です。詩を書く人は poet です。戯曲を書く人は playwright です。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「～の一部」です。「Fukuyama is a part of Hiroshima Prefecture.」（福山は広島県の一部です）。①「～とは別に」は **apart from**、②「～のほとんど」は **most of**、④「～の頂上」は **the top of** です。

◆補足：take part in ～という表現は「～に参加する」を意味します。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②「foot」です。これは体の足首から下の部分を指す単数形です。例えば、「My left foot hurts.」（左足が痛い）。①「feet」は foot の不規則複数形です。③「food」は食べ物、④「boot」は靴の一種です。

◆補足：腰から足首までの脚全体は leg と呼ばれます。なので、foot は leg の一部です。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「fat」です。①「flat」は平らな、②「fast」は速い、④「fit」は健康な、という意味です。

◆補足：fat は直接的で時には失礼な言葉になることがあるため、人々はより丁寧するために **overweight** や **heavy** のようなより柔らかい表現を使うことがよくあります。fat は「脂肪」を意味する名詞でもあります。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④「成功」です。例えば、「The new movie was a big success.」（その新しい映画は大成功だった）。他の選択肢は異なる名詞です。

◆補足：動詞形は **succeed**（成功する）です。形容詞形は **successful**（成功した）です。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するのをやめる」です。例文は「おしゃべりをやめてください」という意味です。選択肢②の stop to do には注意してください。これは「何かをするために立ち止まる」という異なる意味になります。例：「He stopped to talk to me.」（彼は私と話すために立ち止まった）。

◆補足：enjoy、finish、mind など、動名詞（-ing）が後に続く他の動詞もあります。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②「オーストラリア」です。①「オーストリア」の Austria と混同しないように注意してください。これはヨーロッパの国です。

◆補足：形容詞形は Australian です。例えば、Australian person（オーストラリア人）、または Australian animals（オーストラリアの動物）。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③「reason」です。「What's the reason you were late?」（あなたが遅れた理由は何ですか？）。

①「season」は季節、②「region」は地域、④「religion」は宗教です。

◆補足：the reason why という表現は一般的ですが、単に the reason で十分なことが多いです。「The reason I was late is that the train was delayed.」

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「because of」です。この前置詞句は「～のために、～が原因で」を意味します。名詞または名詞句が後に続く必要があります。例えば、「The game was canceled because of the heavy rain.」（大雨のため、試合は中止になった）。①「because」は接続詞で、主語+動詞の節が続きます。例：

「...because it was raining heavily.」

◆補足：due to や owing to も同様の表現ですが、日常会話では because of が最も一般的です。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「科学者」です。名詞の **science** (科学) から来ています。①「芸術家」は **artist**、②「秘書」は **secretary**、③「ピアニスト」は **pianist** です。

◆補足：有名な科学者には、アルバート・アインシュタインやマリー・キュリーがいます。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「～のすぐ後に、～してまもなく」です。この表現は、何かの「短い時間の後」を意味します。例えば、「He arrived soon after me.」(彼は私のすぐ後に到着した)。他の選択肢は、異なる時間関係や代替を表します。

◆補足：soon は「まもなく」、after は「～の後」を意味します。これらを組み合わせることで、二つの出来事の間時間が短かったことが強調されます。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を失う、～に負ける」です。「lose」には二つの主な意味があります：どこにあるかわからずに何かを持たなくなる（～を失う）、そしてゲームや競争で敗れること（～に負ける）。例えば、「Don't lose your ticket.」(切符をなくさないで) や「We lost the game.」(私たちは試合に負けた)。

④「緩い」は形容詞の loose で、スペルと発音が異なります。

◆補足：過去形と過去分詞形は lost です。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「against」で前置詞です。「I am against his plan.」(私は彼の計画に反対です)。また、「lean against the wall」(壁に寄りかかる)のように、物理的に何かに触れたり寄りかかったりすることも意味します。①「again」は再び、③「among」は～の間で、④「about」は～について、です。

◆補足：この文脈での against の反対語は for です。「Are you for or against this idea?」(あなたはこの考えに賛成ですか、それとも反対ですか?)。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④「ヨーロッパ」です。例えば、「France and Germany are countries in Europe.」（フランスとドイツはヨーロッパにある国です）。

◆補足：形容詞形は European です。例えば、European countries（ヨーロッパの国々）や the European Union (EU)（欧州連合）。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「助手、アシスタント」です。「a teaching assistant」（授業の助手）や「a personal assistant」（個人秘書）。①「距離」は distance、②「存在」は existence、③「抵抗」は resistance です。

◆補足：動詞形は assist（助ける、手伝う）で、help の同義語です。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「have a chance to do」です。「I hope I have a chance to visit Kyoto again.」（また京都を訪れる機会があればいいなと思います）。②have a choice to do は～する選択肢がある、③have a change to do は文法的に不正確、④have a charge to do は～する責任がある、という意味です。

◆補足：chance は「機会」または「可能性」を意味します。この文脈では opportunity が同義語です。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「世界中で」です。「Soccer is played all over the world.」（サッカーは世界中でプレーされています）。around the world も非常に似た表現です。

◆補足：the world を他の場所、例えば all over Japan（日本中で）や all over the city（街中で）に置き換えることができます。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「both of」です。この表現は、限定詞（the、my、these など）や代名詞（us、them など）の前に使われ、二人や二つのものを指します。例えば、「Both of my parents are from Nagoya.」（私の両親は二人とも名古屋出身です）。①all of は三人以上のグループの全員、②some of は不特定の数、④none of は否定形です。

◆補足：限定詞の前では of を省略できることがありますが、代名詞の前では必須です。「Both my parents」は OK ですが、「Both them」ではなく「Both of them」と言わなければなりません。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「A と B の両方」です。この構文は、二つの項目を結びつけ、両方が含まれることを強調するために使われます。例えば、「She can speak both English and French.」（彼女は英語とフランス語の両方を話せます）。①は either A or B、③は not only A but also B、④は neither A nor B です。

◆補足：both A and B が文の主語として使われる場合、動詞は常に複数形になります。「Both he and I are students.」

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「息子」です。例えば、「I have one son and one daughter.」（私には息子が一人と娘が一人います）。②「太陽」の sun と混同しないように注意してください。これらは同じ発音です。

◆補足：対になる言葉は daughter（娘）です。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「clever」です。「She is a very clever student.」（彼女はとても利口な生徒です）。②「clean」はきれいな、③「clear」ははっきりした、④「close」は近い、という意味です。

◆補足：clever と smart は非常に似ています。clever は時に、機転が利く、または実用的な方法で巧みであるというニュアンスを持つことがあります。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「shape」です。「The clouds have strange shapes.」(雲が奇妙な形をしている)。
②「shade」は日陰、③「share」は動詞で共有する、④「shake」は動詞で振る、という意味です。

◆補足：in good shape という表現は「体調が良い」を意味します。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「painter」です。動詞 paint (絵を描く) から来ています。例えば、「Vincent van Gogh is a famous painter.」(フィンセント・ファン・ゴッホは有名な画家です)。
①「printer」は印刷業者、③「player」は選手、④「partner」はパートナーです。

◆補足：painter は建物を塗る人(塗装工)を指すこともあります。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「silent」です。「The students were silent during the test.」(生徒たちはテストの間、静かだった)。
①「violent」は暴力的な、②「silver」は銀、③「similar」は似ている、という意味です。

◆補足：副詞は silently (静かに) です。「無声映画」は a silent movie です。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「factory」です。「He works at a car factory.」(彼は自動車工場に働いています)。
①「farm」は農場、②「office」は事務所、④「company」は会社です。

◆補足：factory は、そこで作られる製品の種類を前に付けて表現することが多いです。例えば、「自動車工場」は a car factory、「チョコレート工場」は a chocolate factory のようになります。また、工場働く人は a factory worker と言います。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②「(夢などが) 実現する」です。「come true」という表現は、夢や願いのように望んでいたことが実際に起こったときに使われるイディオムです。例えば、「My dream finally came true.」(私の夢がついに実現した)。①「帰ってくる」は come back、③「やってくる」は come です。

◆補足：この表現は、ほとんどの場合 dream や wish と一緒に使われます。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「野生の」です。「wild animals」(野生動物)。①「広い」は wide、②「賢い」は wise、③「白い」は white です。

◆補足：wild (動物の場合) の反対語は tame (飼いならされた) または domesticated です。wild は「制御不能な」または「非常にエキサイティングな」を意味することもあります。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①「introduce」です。「Let me introduce my friend, Ken.」(私の友達のケンを紹介してください)。②「reduce」は減らす、③「produce」は何かを作る、④「include」は含む、を意味します。

◆補足：名詞形は introduction (紹介) です。introduce oneself という表現は「自己紹介する」を意味します。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「at last」です。「At last, the summer vacation has started.」(ついに夏休みが始まった)。①「at least」は少なくとも、③「at first」は最初は、④「at once」はすぐに、という意味です。

◆補足：finally は at last と非常に似た意味で、しばしば交換可能です。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④「例えば」です。「I like fruits, for example, apples and oranges.」(私は果物が好きです、例えばリンゴやオレンジです)。他の選択肢は異なる接続詞です。

◆補足：同じ意味で for instance も使えます。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を閉める、閉じる」です。close の同義語です。例えば、「Could you please shut the window?」(窓を閉めていただけますか?)。①「撃つ」は shoot、②「見せる」は show、③「叫ぶ」は shout です。

◆補足：shut の過去形と過去分詞形も shut です。A-A-A 型の不規則動詞です。shut up という表現は、誰かに話すのをやめさせる非常に失礼な言い方です。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②「後で、もっと遅く」で副詞です。late の比較級です。例えば、「I'll call you later.」(後で電話しますね)。①「最近」は lately や recently、③「左」は left、④「手紙」は letter です。

◆補足：「See you later!」(また後でね!) は、さよならを言う非常に一般的な方法です。

46.

解答 ①

【解説】

正解は①「lover」です。動詞 love から来ており、何かを非常に愛する人(例：an animal lover、a music lover)または恋愛関係にある人を意味します。例えば、「He is a great lover of classical music.」(彼はクラシック音楽の大変な愛好家です)。②「river」は川、③「cover」はカバー、④「driver」は運転手です。

◆補足：「犬好き」や「猫好き」は、dog lover や cat lover という非常に一般的な言い方です。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④「貧しい、かわいそうな」で形容詞です。また、誰かに対する同情を表すためにも使われます（かわいそう）。例えば、「a poor family」（貧しい家族）や「You poor thing!」（まあ、かわいそうに！）。①「力」は power、②「注ぐ」は動詞の pour、③「純粋な」は pure です。

◆補足：poor の反対語は rich（裕福な）です。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「頭が良い、賢い」です。「He gave a smart answer to the difficult question.」（彼はその難しい質問に賢い答えをした）。①は動詞の start、③は名詞の star、④は名詞の part です。

◆補足：イギリス英語では、smart は「スタイリッシュな」または「身なりのよい」（おしゃれな）を意味することもあります。アメリカ英語では、ほとんど常に知的な意味で使われます。「スマートフォン」は「賢い電話」です。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「be famous for」です。「My hometown is famous for its roses.」（私の故郷はバラで有名です）。②「be famous as」は、有名な役割や身分を表すために使われます（例：「He is famous as a singer.」）。

◆補足：形容詞は famous です。名詞は fame（名声）です。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「違い、相違点」です。「What's the difference between this and that?」（これとあれの違いは何ですか？）。①「困難」は difficulty、②「距離」は distance、③「方向」は direction です。

◆補足：形容詞形は different（違う）です。「My opinion is different from yours.」（私の意見はあなたのとは違います）。
